

かながわ子ども虐待予防研究会 令和5年度第2回研修会

養育者の社会的孤立・孤独への支援を考える ～母子保健からの児童虐待予防に向けて～

児童虐待は、子どもへの人権侵害であり、子どものその後の生き方にも悪影響を及ぼします。子どもを守ることはもちろんですが、虐待している親も、「子育てがうまくいかない」「虐待しているのではないか」「子どもといるのが苦しい」…と悩んでいます。様々な要因が考えられますが、養育者の社会的孤立・孤独もそのひとつです。そのような養育者への支援が重要です。

今回、児童虐待予防の研究や横浜市児童虐待による重篤事例等検証委員会の委員を務めている横浜市立大学大学院の有本教授からお話を伺い、考えていきたいと思えます。

- 講師 横浜市立大学大学院医学研究科
地域看護学分野 教授
有本 梓氏

- ライブ配信 (ZOOM) ※11月7日に URL をメールにて送付予定
2023年11月12日(日) 13:30～15:30
- オンデマンド配信は 11月中旬～30日まで

- 参加費 会員 1,000 円、非会員 3,000 円、学生 (非会員含む) 1,000 円
(ライブ配信受講者も、オンデマンド配信でご覧いただけます。参加費は同じです。)

- 申込み 右の QR コード・申込フォームから (10月30日まで)
- 当研究会ホームページ <https://kanaphncap.jp/>



講師紹介 有本 梓氏 (横浜市立大学大学院医学研究科 地域看護学部教授)

保健師・看護師・博士(保健学)。専門は、保健師の活動・支援技術の明確化、孤立・孤独感軽減、児童虐待予防、福祉のまちづくり。東京大学大学院医学系研究科修了。自治体保健師、東京大学医学部助教を経て、2022年より現職。

横浜市において、保健師対象の現任研修の講師、地域福祉保健計画に関する委員、児童虐待重篤事例等検証委員他、各種委員を務める。

日本看護科学学会奨励論文賞、日本地域看護学会奨励論文賞など受賞。

かながわ子ども虐待予防研究会の設立に尽力し、総務担当。

※ 第3回研修会のご案内 ※

日時 2024年2月18日(日) 午後を予定

講師 とよたまこころの診療所 精神科医 鷲山 拓男氏

テーマ 「虐待予防は母子保健から～指導ではなく支援～」(仮)

会場 ハイブリットで、ウイリング横浜とZOOMで実施します。

詳細は、後日ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

かながわ子ども虐待予防研究会 会員募集



神奈川県内の保健師等看護職のため

「子どもの虐待予防」について、研修・研究を行う団体です

年会費 3,000円

講演録のご紹介

2018年9月8日の設立記念講演「世界から学ぶ虐待予防支援」と題して、アメリカの小児科医師 ケンプ理論を中心に講演いただいたもの(パート2も含む)をまとめた講演録を作成しました。保健師等看護職が日々出会う、SOSの声を上げることが難しい親子への支援の礎となる内容です。

★ 小林美智子先生 講演録「これからの子ども虐待予防活動にエールを送る」を会員加入者は無料提供します。

★ 販売 非会員 1,500円(送料込み) 購入希望の方はHPをご確認ください。→



かながわ子ども虐待予防研究会 (KanaCap)

HP:<https://kanaphncap.jp>